

他施設のメスゾウの滞在 【Visiting Elephants】

http://www.upali.ch/visiting_en.html

滞在するメスゾウは、どこからやって来るか？

滞在するメスゾウは、通例では、そのメスゾウが在籍する動物園やサーカスに、交配用のオスゾウが居なかったり、飼育できなかったりした場合に、交配用のオスゾウが居る動物園に交配のためにやって来る。メスゾウの発情期は、3～4カ月おきに、わずか1回だけであるから、オスゾウのところに滞在する旅行は、受け入れ側の動物園に長期滞在することを避けるように綿密に計画されなければならない。



↑ チューリッヒ動物園に滞在した Claudy (中央)

外部施設のメスゾウを繁殖目的に使うことは簡単か？

他園のオスゾウと交配するメスゾウの交配計画は、通常、定期的な採血によって測定された当該メスゾウの性周期（ホルモンサイクル）の正確な情報が必要である。これによって、次の排卵時期の予測が、かなり正確にできるようになる。

動物園のゾウに関する問題は、彼らが旅行することに慣れていないことである。旅行中の興奮と到着時の新しい環境の衝撃は、正常な性周期を滅茶滅茶にする可能性がある。そういうわけで、メスゾウを滞在させる方法により首尾良く交尾させるという繁殖計画は、むしろ難しい（困難な）傾向がある。

どのゾウが妊娠したか？

1983年以降、チューリッヒ動物園に滞在した5頭のメスゾウのうち、これまでに、サーカス・ニーの Claudy だけが、首尾良く妊娠し、実際に2回の妊娠に成功した。Claudy は、1983年に、6ヵ月間、チューリッヒ動物園に滞在した後、1985年に Lohimi を出産した。そして、再び、1990年に約半年間、滞在した後、1992年に Boy を出産した。



↑ Claudy と Maxie

残念ながら、Claudy の 2 例を除く総ての交尾のための滞在は、総て不成功だった。シュツットガルト動物園から来た 2 頭のゾウ (Pama と Zella) は、チューリッヒ動物園のゾウの群れと、うまくなじんで (とけこんで)、この 2 頭は、実際に、Maxie と交尾した。しかし、残念ながら、2 頭は妊娠しなかった。

あらゆるメスゾウが、他施設のゾウの群れに、なじむ (とけこむ) ことができるか？

英国の Woburn サファリパークのメスゾウ (Jothie) が、1991 年に、チューリッヒ動物園に滞在した。残念ながら、Jothie は、チューリッヒ動物園の群れとなじむことができず、チューリッヒ動物園の Chhukha が、Jothie をモート (堀) に押し出した。Jothie は、Maxie と交尾したが、妊娠しなかった。

ニー・サーカスの Siri は、Maxie のマスト期間が、まだ完全に終わっていない時に、Maxie に逢うという不運を味わった。Siri は、最初の日に、Maxie とうまく交尾した後、2 日目には、Maxie を恐がり、彼から逃げようとした。Maxie は、このことで、Siri に対してひどく憤慨して、非常に激しく彼女を攻撃した。そして、もう一度、Siri と交尾させることは無意味となった。



↑ Jothie